

臨床研究に関する情報公開

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は通常の診療で得られる試料や情報を利用することによって行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせがありましたら以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、資料や情報がこの研究で用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究課題】 進行・再発乳癌患者の End of Life を考える～緩和ケアチームの役割

【研究責任者】 緩和ケア科 佐藤雅子

【研究目的】 進行・再発癌の患者に対し、抗がん治療をいつまで継続するか、終末期の療養の場の検討をいつから話し合っていくべきかについては明確な基準やガイドラインは定められていない。特に再発してからの治療経過が長く、40~50 代の患者が多い乳癌では、治癒が望めない病状になってから終末期までをどのように過ごしていくかについての検討が必要と考えられる。緩和ケア病棟（以下、PCU）に入院することなく一般病棟で最期を迎えた進行・再発乳癌患者の経過や積極的治療終了、終末期の療養場所の検討がどのように行われたかにつき実態を調査することを目的とした。

【研究期間】 倫理委員会審査承認後から 2020 年 9 月

【研究対象】 2012 年 1 月から 2019 年 12 月までに当院外科で治療を行い、一般病棟あるいは在宅で亡くなった進行・再発乳癌 21 例。また、同時期に緩和ケア病棟で亡くなった進行・再発乳癌 39 例との比較も行った

【研究に用いる試料や情報】 年齢や病歴、血液検査や画像検査のデータ、カルテの記録

【問い合わせ先】

北海道札幌市豊平区平岸 1 条 6 丁目 3 - 4 0

KKR 札幌医療センター 所属 緩和ケア科 担当 佐藤雅子

電話 011-822-1811 FAX 011-841-4572